

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

団体名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
退職代行サービスOITOMA	代表取締役	齋藤大河	東京都	生活関連サービス業、娯楽業	https://o-itoma.jp/

当団体は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、業界として以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	3/8/2022
-------	----------

(取組方針)

・会員企業の事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を業界の課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、会員企業の物流改善に向けた取り組みが進展するよう、業界として支援します。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、会員企業と取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守するよう、業界として必要な啓蒙活動を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・会員企業に対して運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するよう業界として呼びかけるとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、業界としてその遵守に努めます。

※上記趣旨に賛同するとともに、業界として会員企業に推奨する取組項目

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じます。
2	A ⑪	高速道路の利用	物流事業者から、高速道路の利用と料金の負荷について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
3	E ①	宅配便の再配達削減への協力	配達希望日・時間帯の指定が可能となるように、自社のインターネット通信サイトを改良します。・社宅への宅配ボックスの設置やオフィス受取を推進します。
4	A ⑯	検品水準の適正化	取引先から検品方法・返品条件等・検品条件等の適正化に関する提案があった場合は、真摯に協議に応じます。
5	A ⑬	発注量の平準化	荷待ち時間を短縮するとともに、運行効率を向上させるため、曜日波動や月波動などの閑散差を平準化します。
6	A ⑮	納品日の集約	取引先から隔日配送化、定曜日化等の納品日の集約に関する提案があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。

PR欄	東京都にて、退職代行業社を運営しております。お客様は勿論のこと、取引先企業様にも、スムーズにご協力いただけるような業務改善を物流の観点から実施いたします。
-----	---